？教会の会長・奥様はだあれ？

会長の名前は
福沢（フクザワ） 正弘（マサヒロ）さん

奥様の名前は
福沢（フクザワ） 初美（ハツミ）さん
です。

会長は、私のおじいちゃん、
奥様は、私のおばあちゃん
です。
2人とも、とっても仲よしです。

？おつとめってなあに？

↑
このはっぴは、おつとめに
使うものです。
この教会では1日2回
「朝づとめ」と「夕づとめ」
を行います。
おつとめは親神様（おやがみさま）みたま様、親様の3つの神様
への日々の感謝の気持ちを
こめて行います。

参拝の仕方

① 床につけて
② 手を4回 パンパンパンパン
③ ①をしながらおじぎ を3回やります。

豊丘村（とよおかむら）へ ようこそ
天理教（てんりきょう）
龍河分教会（りゅうかぶんきょうかい）

参拝（さんぱい）をしに来てね！！

パン パン

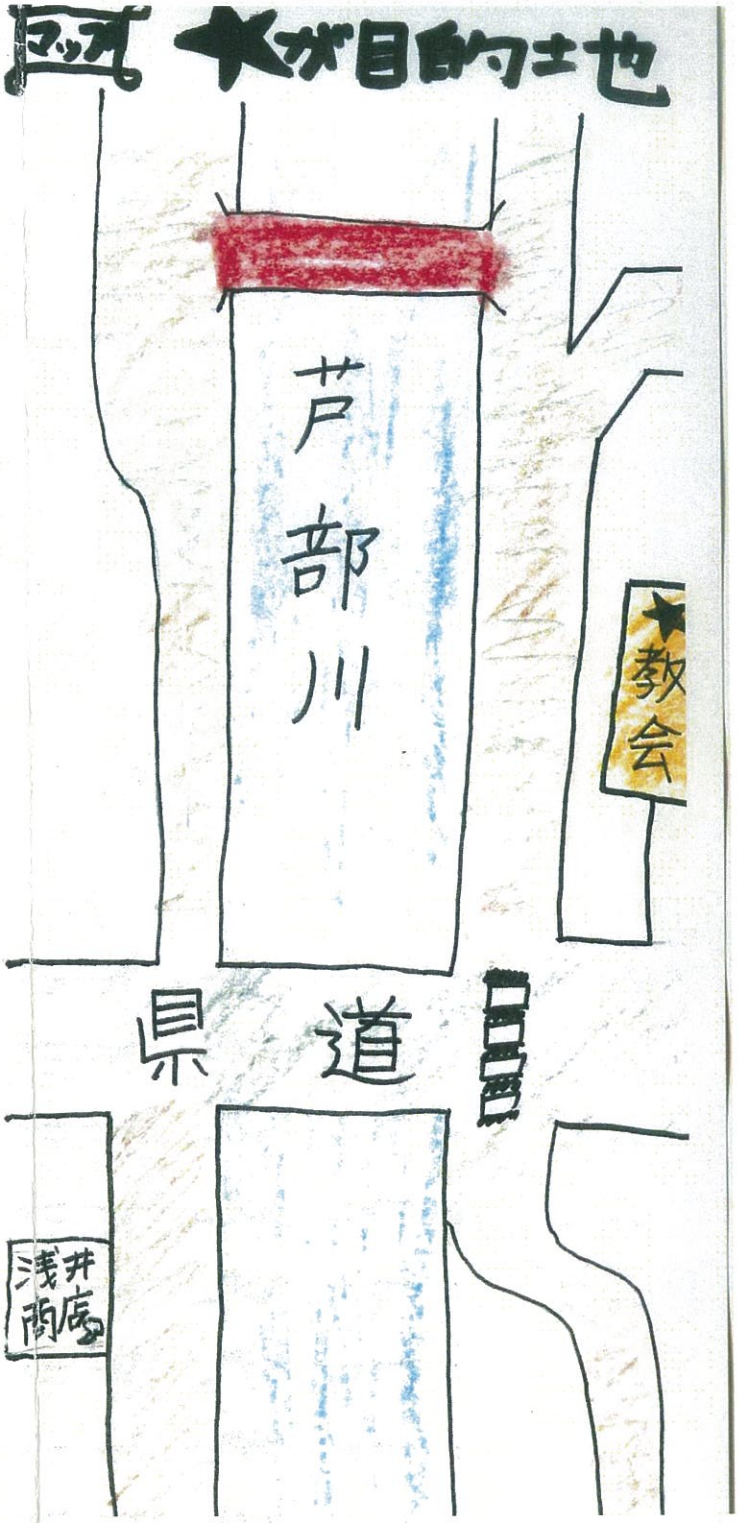
?教会ってどんな所なの?

教会では、主に「おつとめ」(朝、夜)「参拝」をします。
そして、この教会の団体名は、「甲賀団龍河隊(こうかだんりゅうかたい)」です。
そして、この団体で「奈良県」へ「おぢばり帰り」という行事へ参加します。

?おぢばり帰りってなあに?

↑おぢばの本でん↑
おぢばり帰りでは、団体ごとに奈良県の「人間の故郷」へ帰ります。
そして、おぢばには「3つの約束」があります。それは、
1、生きる喜びを味わいます。
2、仲よくはげまし合います。
3、ものを大切にします。
そして、今年の「テーマ」は、
「みんな兄弟おやさとへ」です。

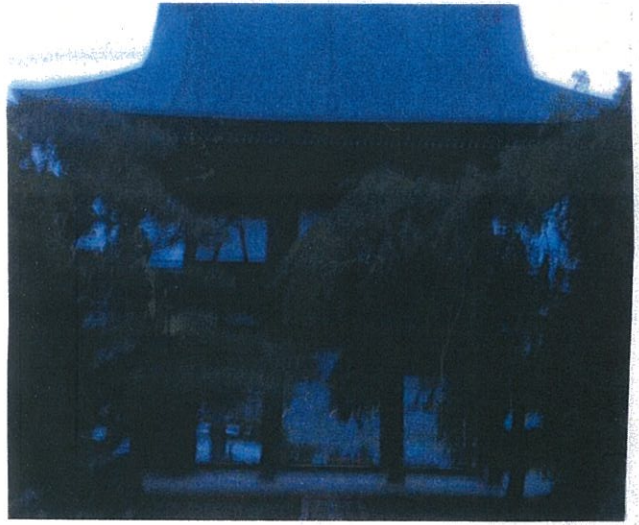
マップ 大が目的地也

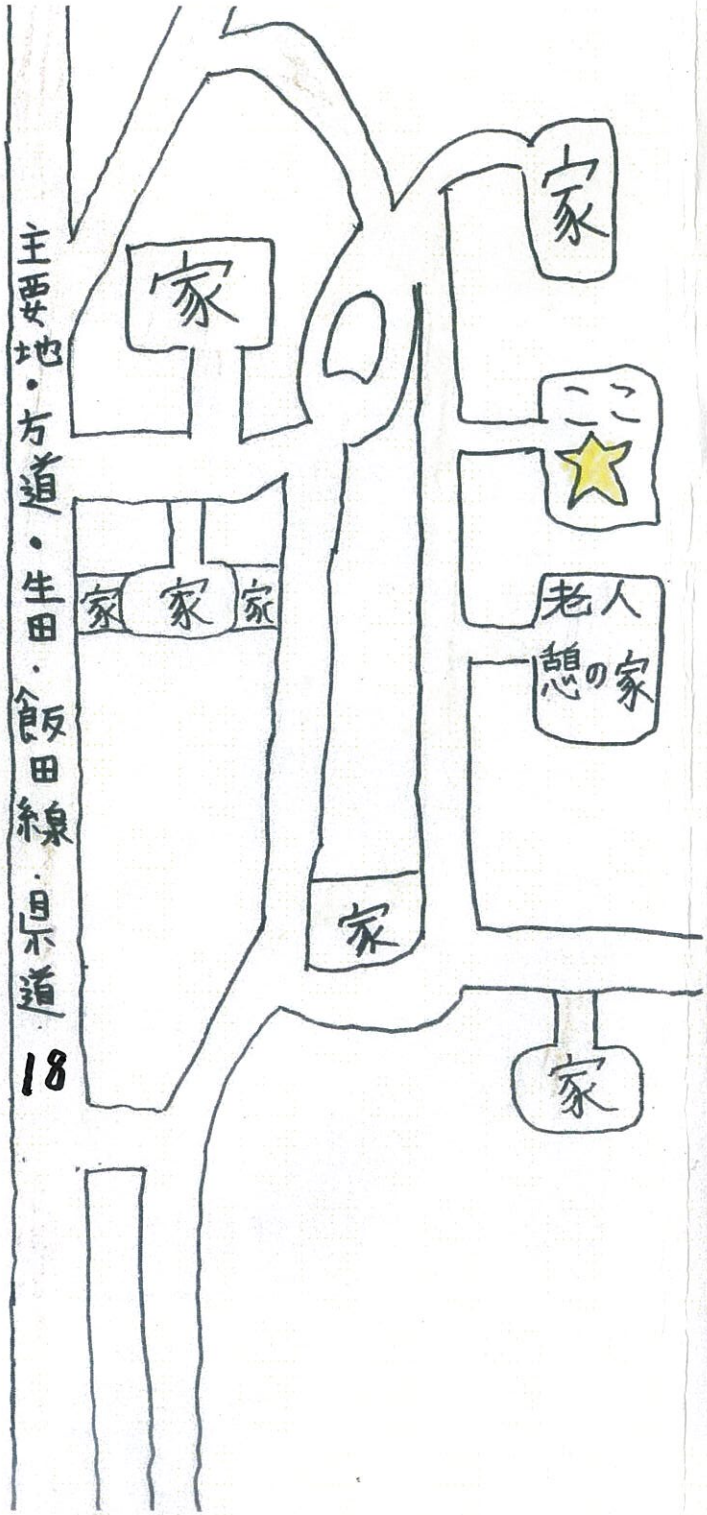


泉龍院（せんりゅういん）

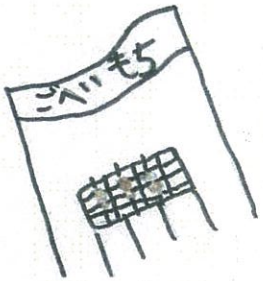
堂々たる山門

この山門は文政元年（1818年）に建てられた。村の文化財にも指定されており、高さ12.8m 奥行6.3m 間口7.3mという大きさ。2階のしょうじの中には、四天王や六羅漢などの彫刻がある。しょうじにはぞうやキリンなどがえがかれている。





三色ふじはとても有名で観光バスも来ていました。にぎわっていたころは、地元の人がたくさん売店を出していたそうです。やえ桜もあります。色はとてもきれいな白・ピンク・むらさきの三色です。



きれいすぎ

三色ふじ

豊丘村 御手形神社

目次

- 御手形社建てる前 …2,3ページ
- 手がある理由 …4,5ページ
- 地図 …6ページ

だれの手形だろう

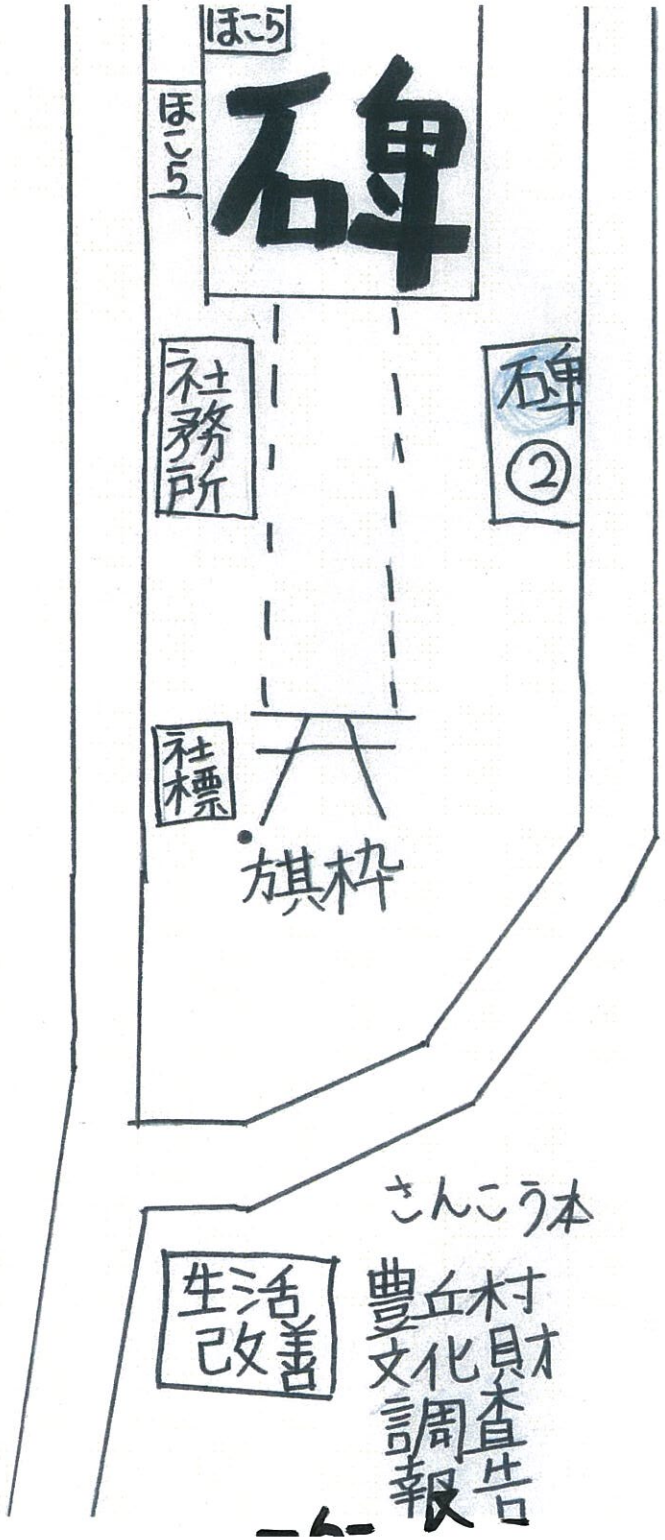
神と神の間で戦いがおこった。にげる神をどこまでもおいかけ、とうとう在原まで来てしまった。もうにげられないと手形をおした後、仲よくなれた。

このおくに手が。

くわしく書いてあるこうだ。

これが手→

どこが手か分かる？



御手形社が建てられる前

この石の附近に畑を開く人は、皆たおれてしまう。これは神霊のたたりだということに決まりそこに神社を建てた。

豊丘村

御手形が諏訪神社

これは、御手形石の由らいです。上は、下の文を分かりやすくしたものです。アップにしてあるので読んでみて下さい。
行った人は、本物を読んで下さい。

御手形石の由緒

諏訪神社に祀られている大石の上に、大きな手の跡が付いているのが御手形石の名の起こりである。

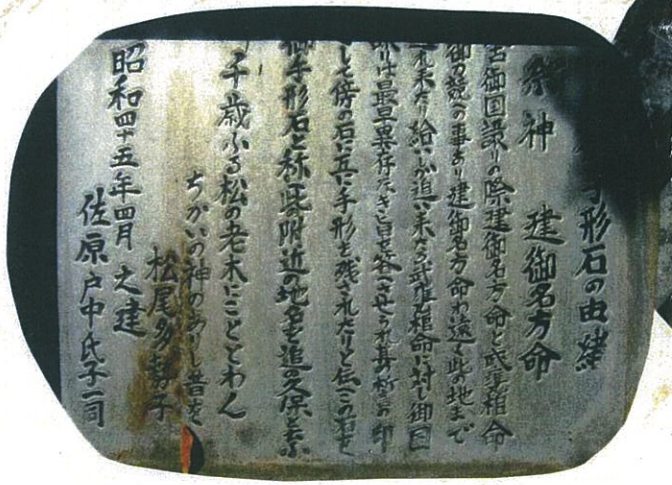
大昔、八百万の神の集まる高天が原から使者が出雲に来て大国主命に帰順を勧めた。大国主命は早速承知し服参したが、若い息子の建御名方命は承知せず裁判決戦、ついに高天が原の武甕槌命との戦いとなる。建御名方命は敗れて逃げるが、武甕槌命はどこまでも追いかけ、とうとう佐原の地で追いついた。建御名方命は服参し傍らの石に手形をつけて帰順の誓いをし、二神の間に和睦が成立した。

この地を「追いの宮」という。武甕槌命が建御名方命を追って来たから出来た名だという。

平成十六年三月
豊丘村教育委員会

これは、御手形神社を前からとった写真です。とっても立派な、鳥居ですね。

これは、御手形石がある所です。入れはいっていいね。これは中にも人が見てさます。行った石をして下さ



御手形神社のおにの手？

これが「おにの手」です。

言い伝えでは、おにののどがかわいて天竜川をまたいで御手形石と高森の石に手をついてのんだ。と言われていました。でも不思議なことに御手形石よりも高森の手の方が大きいというのです。そして、そのおにの足というのが諏訪にあるといいます。だけどそうなるとおにの体は

しかも、御手形神社の手は大人よりちょっと大きいぐらいの手です。

そうなると ちがうのかなぁと思いますね。

さんこう本

豊丘村文化財調査報告